

2022 年度小委員会活動成果報告

(2023 年 3 月 29 日作成)

小委員会名	広報小委員会	主 査 名：大岡 龍三 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会	委員長名：秋元 孝之
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	環境工学分野の研究者間の情報共有、および広報活動 初年度：環境工学委員会の広報、環境工学委員会ホームページの更新 2 年度：環境工学委員会の広報、環境工学委員会ホームページの更新 3 年度：環境工学委員会の広報、環境工学委員会ホームページの更新 4 年度：環境工学委員会の広報、環境工学委員会ホームページの更新	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：大岡 龍三 (東京大学) 幹事：山本 佳嗣 (東京工芸大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2022 年度予算	173,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s0/index.html

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 月 2 回程度の定期的なメルマガ配信を行った (No.223～No.240). 2. 環境工学本委員会 HP を定期的に更新し、積極的な情報発信を行った.
委員会活動の問題点 ・ 課題	なし

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2022 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> A B C D </div>
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>設置目的である「ホームページの更新やメルマガ配信」については達成した。具体的には、環境工学委員会の HP において組織図・規定類などを常に最新に保ち、更に AIJES のページを新設することにより最新の改定・廃止の状況が確認可能とした。また、18 回にわたって環境工学メルマガを配信し、環境工学研究者及び実務者への公募・催し物案内を行った。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。